



# 中山間地域農業のことを知ろう

## [シリーズ⑧]スマート農業で変わる中山間地域農業の姿

■問合せ…農政課 (☎025-526-5111)

No.1111

令和3年3月25日発行

令和2年度は、私たちにさまざまな「めぐみ」をもたらしてくれる中山間地域農業に関する取り組みについて、シリーズで紹介してきました。シリーズ最後となる今回は、中山間地域農業に徐々に活用されてきている「スマート農業技術」をご紹介します。

### 「スマート農業技術」とは？

「<sup>エーアイ</sup>A I (人工知能)」や「<sup>アイオーティー</sup>I O T (身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み)」など先端技術を活用する農業のことを指します。草刈りや農薬・肥料散布、農業用水の管理など、これまで人が行っていた作業を機械が代わりに行うことで、省力化とともに肉体的な負担が大幅に軽減されます。

自動運転のトラクターや田植機などは平場の田んぼが中心となりますが、中山間地域でも活用できる技術が色々と開発され、徐々に広がりを見せています。

### 中山間地域で活用できるスマート農業技術

#### マルチローター (ドローン)



マルチローター(ドローン)を活用すれば、重い動力散布機を背負って畦畔を歩き回る必要がなく、作業の省力化や労働時間の削減が期待できます。機体によっては、スイッチ一つで自動飛行が可能です。

#### ラジコン草刈機



刈払機よりも刈幅は狭いものの、畦畔が長い中山間地域において、肉体的負担を大きく軽減できます。草刈りが可能な傾斜角は、機種によっても異なりますが、最大約45度となっています。

#### 多機能型自動給水栓 (開水路タイプ)



ほ場における水管理の自動化や遠隔操作化によって、労働時間を削減できます。パソコンで給水開始時間を設定することができるほか、水位計と連動させて一定の水位を確保することで、ほ場に行かなくても水管理が行えます。

### スマート農業の推進に向けて

スマート農業機械は、普及が進むにつれ少しずつ価格は下がっていますが、「導入初期コストが高い」ことが課題です。このため、スマート農機を複数の農業者で共同利用することによってコストを抑えることも検討され、実証が進められています。市ホームページでは、「上越市スマート農業プロジェクト委員会(事務局:農政課)」が取り組んだ実証結果を掲載しているほか、実証動画「YouTubeチャンネル 上越市スマート農業プロジェクト」も紹介しています。



市ホームページ

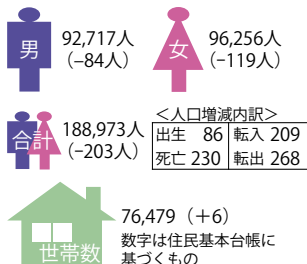
#### 広報対話課から

(☎025-526-5111)

●「広報上越5月号」は、4月22日(☎)・23日(☎)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

#### 上越市の人口・世帯数

令和3.3.1現在。( )は前月との比較



#### 表紙のことは:新たなステージでも活躍を

3月8日に開催された城西中学校の卒業式は、在校生は教室からリモートで参加し、卒業生は卒業証書を受け取る時だけマスクを外すなど、新しい形式で行われました。

卒業生にとって最後の1年間は、さまざまな活動制限を余儀なくされましたが、この経験を糧に、新たなステージでのさらなる活躍に期待します!



読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

上越市ホームページアドレス <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

1270 (古紙パルプ配合率70%再生紙を使用)

市の取り組みやイベント情報などを発信中!



LINE



Twitter

編集 943集 上越市総務管理部広報対話課 新潟県上越市木田1-1-3 ☎025-526-5111 有線(JHK) ☎5111